

神戸市保健福祉局主催の食育活動 マルヤナギ『第 10 回こうべ食育フェア』出展 ～「食」を身近に感じ、“大切さ”の気づきを提供～

煮豆・佃煮のマルヤナギブランドを展開する株式会社小倉屋柳本（神戸市東灘区 代表取締役社長：柳本一郎）は、地元神戸の食品メーカーとして、「食」を通じて社会貢献していきたいと考えており、神戸市保健福祉局主催「第 10 回 こうべ食育フェア」の主旨（下記概要参照）に賛同し出展いたします。（2007 年から毎年、今年で 7 回目の出展）

【第 10 回 こうべ食育フェア概要】

- ・ 日 時 : 2013 年 6 月 29 日（土）11:00～15:00
- ・ 場 所 : ハーバーランド デュオドーム、採光ドーム
（ＪＲ神戸駅前地下街イベントスペース）
- ・ テーマ : 食育×実践＝健康 普段の食生活に食育を
- ・ 対 象 : 市民（主に、子供と保護者を中心に大人への啓発も同時に行う）
- ・ 目 的 : 市民が「食を楽しむ」「食を大切にする」「食と健康に関心をもつ」を実現できること。
関係機関・団体等と連携及び協働を図りながら、食育を推進。

【マルヤナギの出展内容】

○出展への思い○

マルヤナギのブースでは、子供を対象としたゲームを通して「食」に直接触れてもらい、興味や関心を持ってもらえる機会を提供していきたいと考えております。

食を更に知り、知識を深めてもらうことで、毎日の食の大切さを体感してもらい、自分自身で健康に良いものを選び、食べる（選食力）ことの大切さを感じてもらえるきっかけになればと願っています。

○実施ゲーム内容○ ～「食」の大切さ～

- ・ 豆つかみゲーム：お皿からお皿へ、お箸を使って運ぶ。
豆に触れることで「食」に触れ、まず興味を持ってもらう機会を作ります。
- ・ なんだろうBOX：食材の入った箱に手を入れ、手の触感だけで食材が何かを当てる。
食べ物を知り、食材に直接触れてもらうことで「食」に関心を持ってもらう。
- ・ 旬あてゲーム：年中食べられる食材にも、四季折々の中で一番おいしい時期があることを伝える。
季節、旬（時期）によって、一番良いものを食べる、栄養が高くおいしい食材を知る。
何を食べると良いのかを見抜く力を身に付けるきっかけ作り。



昨年の様子